

と しょ かん 宇 治

No. 40

1998年3月25日発行

宇治市中央図書館
〒611 宇治市折居台1-1
-0023 0774 (20) 1511

宇治市東宇治図書館
〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-5
-0011 0774 (32) 2232

宇治市西宇治図書館
〒611 宇治市小倉町山際63-1
-0042 西小倉地域福祉センター3階
0774 (22) 8240

私と図書館

宇治市図書館協議会委員

真下昌子

私は学生時代から図書館が大好きでした。高校生の頃には東京の日比谷公園にある建物が正三角形の形をした日比谷図書館によく通いました。学校が休みの日には開

館前から長蛇の列が出来、席を確保すると半日は冷暖房完備の図書館で過ごしました。まだ十分に学習する場も家になかった時代に図書館は知識を吸収する絶好の場でした。



昭和四十年代に宇治に移り住んでからも、すぐに図書館をさがしました。当時の図書館は宇治橋の近く、川の西岸にある当時の市民会館の二階にありました。時間を見つけては通い、宇治の歴史に関する本などを熟読しては感激していました。図書館から出ると階段が外側にあり目の前に広がる歴史ある宇治川や宇治の山々の景色を見て、今読んだ本の思いと重なり、感激が二重になったのを覚えています。

子育て時代には家の近くまで来る移動図書館を待ち、子供と共に楽しみました。中央図書館が開館してからは、設備の良さ、蔵書の多さと、家から近いこともあり、時々通っては資料を調べたり、家族みんなの本を借りたりしています。私は図書館の何とも言えない、ふんわりした温かい雰囲気が好きです。科学技術が発達して居ながらにしていろいろな知識が得られる便利な時代になっても図書館は人間の生活の中からもなくなることとはいいません。



ある図書館員の一日

わたしが図書館で仕事をするようになって、もうすぐ丸6年。西宇治図書館が開館するまでは中央図書館にいました。

わたしの典型的な一日を紹介しようと思います。

AM8:05 図書館に出勤。みんなの手分けをしてゴミを出したり(火曜日は燃えるゴミの日です)郵便受けの10種類の新聞をとり入れます。火曜日のブックポストは休館明けということもあって本が山盛りです。それを集めて3階に運びます。新聞を前日分と入れ替えたり、机や書架のふきそうじをしたりして開館準備をします。



AM8:45 事務室でミーティングをして、館長からいろいろな連絡を受けます。

AM9:00 いよいよ開館時間です。いつものおなじみの利用者の人達がさっそく来られます。朝一番の仕事、『本返し』を始めます。返却されて来た本を先ずコンピューターで処理をして、みんなで手分けして書架の決められた場所に戻していきます。それと並行して書架にある本が、あるべき場所にきちんとあるかをチェックし、整理します。この一見地味な作業がとても重要なのです。いつもきちんと整理されていてこそ、利用者の方が求める本をすぐに見つけられます。又、資料が不十分な分野を知って今後の購入計画を立てることもできます。それに何より、色々な本が書架にピシッと並んでい

ると読書意欲が湧いてワクワクしますよね。他の業務に追われて、大切なこの作業がきちんとできなかつたりすると気がかりです。



AM10:15 カウンター当番の時間になりました。休館日あけということもあって午前中でも来られる方が多く対応に追われます。『少年H』を以前に予約された女性が、「昨年から待っているんですが……。」とのこと。さっそくコンピューターで調べます。(分館はこの検索が遅いのだ!/)「30日目まできています。複本も割と多いので、あともう少しお待ち下さい。」ベストセラーは100人以上の予約が入ることもあるので、長くお待ちせしてしまって申し訳なく思います。

カウンターにいる時は、貸出・



返却の他に、調べものに来られた方の資料探しのお手伝いをしたりします。また合間を縫ってコンピューターでリクエスト本の発注や、予約の入力もします。

PM12:00 お昼休みに入ります。11:00頃から、既にお腹はペコペコです。肉体労働だな〜としみじみ思うひとときです。

PM1:00 午後は事務室で庶務の仕事を行います。年度末も近く、月初めでもあるのでやる事がいっぱいあります。

PM3:20 急ぎの書類を市役所の担当課に届け、ついでに図書館で使う用紙類の印刷をします。印刷室が混んでなくてラッキーでした。

PM4:30 図書館に戻ると、学校を終えた子ども達で随分とにぎわっています。閉館まであと30分。もうひとがんばりです。

こんな風が一日があつという間に終わってしまいます。図書館には貸出・返却以外にもたくさん仕事があります。毎日色々な事(予約の本の電話連絡、選書、本や雑誌のコンピューター登録、返却が遅れている人への督促、入手不可能な本の調査…etc.)をしています。おはなし会などの催しもします。これらの仕事をスタッフみんなで協力し合って毎日がんばっています。

利用者の方が求める本を探し出す、読みたいなあと思われるような本を書架に揃えるのが私達の使命だと思っています。ご要望に答えられない事もあるのですが、努力しています。

図書館がなくても直接生活には困らないかもしれませんが、でも図書館が日々の暮らしに少しでも役立ち、彩りを添えることができればと思います。



わからないことは、きがるに声をかけてください。

図書館へようこそ
利用者にインタビュー

第26回

深沢 一知 くん
一仁 くん

小さい頃からおかあさんに連れられてよく図書館を利用し、中学二年生になった今でも本が大好きというふたごの兄弟、深沢一知君と一仁君にお話を伺いました。



★図書館はいつごろから利用されていますか。

幼稚園ぐらいかなあ。もつと小さい頃かもしれないけれど、おかあさんに連れられて紙芝居とかを借りていました。家族中が本が好きなのと近いこともあって、よく図書館に

来ていました。

★どんな本が好きですか？

おとうさんが外国文学が好きなのでその影響を受けた「銀河英雄伝説」を読んでいます。読み始めると止まらなくなるので困ります。

ぼくは、UFOとかオカルトについて書いている本。この前、風水の本を見て実践したら、百円でできてうれしかった。(笑)

★いつ本を読むんですか？

学校が京都市内なので電車の中で読むのが多いですね。学校も週2回、朝の二〇分間、「読書の時間」というのがあるので、そんな時間に読んでます。週に一冊位読んでます。学校の図書室にはあまりおもしろい本がないので、すぐここに来て借りるんです。

★図書館に対して要望はありますか。

ビデオとかCDとか置いてある図書館がありますよね。ああいうのがあるといいなあと思います。それと、ぼくたちが読む、ランキングのっている音楽雑誌とかもあるとうれしいです。

★検討してみますね。これからもどんどん図書館を利用して下さいね。

折々 NEWS



西小倉地域福祉センター
西宇治図書館合同講演会

去る三月四日、西小倉地域福祉センターにおいて、両施設合同の講演会を行いました。テーマは、「巨椋池周辺の歴史と文化」ということで、宇治市文化財愛護協会の理事の若原英式先生にお話しいただきました。地元西小倉地域の昔を知ろうという七〇名を超える方が参加されました。宇治市民にとっ



熱心に耳を傾ける受講生達

ては、小学校の社会科授業から巨椋池はなじみの深い、でもはるか古えのロマンを湛えた存在なのでしよう。若原先生の流れるような歴史物語に、みなさんしばし日常を離れて聴き入っていらっしやいました。二時間余りの講演でしたが、興味は深まるばかりといった印象でした。

バードウォッチングをやってみませんか！

子ども読書週間記念講座のお知らせ

東宇治図書館

○1回目



4月25日(土)
午後2時~4時

東宇治コミュニティセンターでバードウォッチングの基本について学習します。

○2回目



5月9日(土)
午前10時~12時

木幡池周辺を歩いて野鳥を観察します。

(雨の時は木幡公民館で行います)

※くわしくは市政だより(4/1号)をごらん下さい。

郷土のはなし

木 幡 池

木幡の西端に木幡池があります。天ヶ瀬ダムの鳳凰湖などの人造湖を除けば、宇治市内で一番大きな池です。

古くは、木幡池付近は、宇治川の支流と山科川の末流が合流していたと考えられ、低湿地帯であったと言われていました。それが十六世紀末期に、豊臣秀吉が伏見城を建立し、伏見に城下町を建設しますが、その際、交通の要衝を宇治から伏見の移すため、大規模な土木工事を行います。その一つが宇治から伏見向島まで堤を築造したことです。この堤は横島堤とも太閤堤とも呼ばれています。これにより宇治川は、巨椋池に注いでいたものが堤によって固定化され、また山科川も宇治川に注ぐようになりました。この結果、湿地帯であったこの付近は、宇治川、山科川から分離し、池になったと思われれます。五ヶ庄にもかつて多くの池がありました。ほぼこれと同

じ理由であったと考えられます。ところで、江戸時代ではこの池を沢田と呼ばれていたようです。江戸時代に多くの地誌が発行されましたが、その一つ「雍州府志」には、

沢田 六地藏村より太和田(五ヶ庄)に到る之間、道路之西畔也

と記されています。その他の地誌にも「沢田」あるいは「沢田川」と書かれており、当時では木幡池と呼ばれていなかったのでしょうか。明治初期に作成された「宇治郡村誌」には、呉潭沼と記され、その中に蓮池とも呼ばれていたと記されていたことから、蓮が生育していたのでしょうか。

今は池の周辺に住宅が立ち並び、また、かつてほどの大きさもなく以前の風景とは随分異なりますが、この地域に住む人々の憩いの場となっています。



利用案内

- 市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、1人5冊3週間(そよかぜ号は約1ヵ月)本が借りられます。貸出券は全館共通です。
- 図書館は9時から17時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始です。

中央図書館



西宇治図書館



東宇治図書館



あどがき

◆図書館の窓からさし込む光も、日に日に春めいてきて、読書を楽しんでいる人を柔らかく包んでいくようにみえます。いい季節になってきましたね。お天気の良い日は『戸外で読書』というのも楽しい

かも……。新しい本やカセットもたくさん入りましたよ。バスケットの中にサンドイッチとワイン……、

そしてそこに一冊の本……なかなかおもしろいと思いませんか？

